

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	出産子育て応援事業子育て応援アプリ事業				
担当部署・課長名	健康	課	庶務	係	課長名 志村明子

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。			施策番号	2 - 1	-
【施策名】 保健・医療の充実			総合計画書 (ページ)	47	

予算名	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費	目 1	保健衛生総務費	事業 7	子育て応援事業費
-----	-----	-----	-----	-------	-----	---------	------	----------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 妊産婦、乳幼児	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 市内の妊婦(妊娠届出者数とする) 乳幼児(0~6歳児)
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 健診・予防接種等子育て支援の情報を入手し、予防接種の管理等子育てに活用する。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ダウンロード数
	③ そのために何をしましたか。 アプリケーションを作成し配信した。チラシ、リーフレットを作成配布した。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) リーフレット配布枚数

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	729 5200	661 5054	608 4958	/
	成果指標	②の数値	件	1,303	1,121	525	/
	目 標	②の目標値		729	661	608	
		目標値設定の考え方	妊娠届出者が出産後子育てに活用するためアプリをダウンロードする				
活動指標	③の数値	枚	5,620	2,435	3,270	/	

3 経費	事業費(実績)		円	648,000	4,023,000	4,235,871	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	324,000	466,000	476,417	
		特定財源	円	324,000	3,557,000	3,759,454	
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.4	0.4	0.4	
		所要人数(再任用)	人				
	職員人件費(再任用以外)	円	3,293,200	3,301,200	3,297,600		
	職員人件費(再任用)	円					
	事業費+人件費	円	3,941,200	7,324,200	7,533,471		

この仕事における市の裁量	市の裁量は大きい
--------------	----------

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 ・子育て世代に対し、スマートフォンのアプリケーションを用いて事業や予防接種等の子育てに役立つ関連情報をタイムリーに発信していく。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 ・アプリへの情報掲載を関連課がタイムリーに行えるよう、手引きを作成したことにより、複数の課が子育て関連情報を掲載し、情報が充実した。

仕 事 の 内 容	出産子育て応援事業子育て応援アプリ事業				
担当部署・課長名	健康	課	庶務	係	課長名 志村明子

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	ワークショップを開催し、アプリに搭載している機能を実際使ってもらい、利用やすさ等について意見を把握した。				
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）				
	取り組んだ	取組手法	⑧ワークショップの開催		
	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）				
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点					
・引き続き、年1回程度ワークショップを開催し、利用者のニーズや意見を把握していく。					
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容				
	アプリケーションの発信情報の充実と周知の徹底しダウンロード数を増やす、ワークショップの実施。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。				
	他課からの情報もアプリで発信できるよう、手引きを作成した。				
(3)(2)を踏まえた今後の課題					
8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）				
	アプリの機能等、引き続き検証していく。				
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を向上させる。			経費	仕事の経費は維持する。